

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

私達らしい金融・サービスで豊かな未来への架け橋となる。サステナビリティ経営を軸に持続可能な循環社会の創造を目指す。

営業利益
235億円

親会社株主に帰属する
160億円

環境分野への累計資金
4,000億円

配当性向
50%

2 中長期の経営戦略

1. 既存ビジネスの強化

リース&ファイナンス事業、サービス事業、インベストメント事業における既存ビジネスをさらに強化する。

3. as a Service分野展開

モノ中心からサービスヘシフト。所有から利用へのニーズ変化に対応し、事業拡大を目指す。

2. 新規ビジネス創出

投資の拡大とサービス多様化、及び新たなビジネスモデルへの挑戦により、地続きな新規ビジネスを創出する。

4. BPO分野の事業展開

労働人口不足など企業の経営課題解決に貢献するサービスを提供し、企業の成長機会に資する。

3 対処すべき課題

① 外部環境変化への対応

- ・金利上昇や米国関税政策変更など景気先行き不透明感への柔軟な対応が必要
- ・企業のデジタル化や設備投資ニーズへの金融・サービス面での課題解決

② 組織能力の強化

- ・挑戦する人材育成と多様な人材が活躍できる組織づくり
- ・業務システム自動化・効率化とサイバーセキュリティ、ITガバナンス強化
- ・グループ各社のガバナンス連携強化によるスケール化

③ 資本効率性の向上

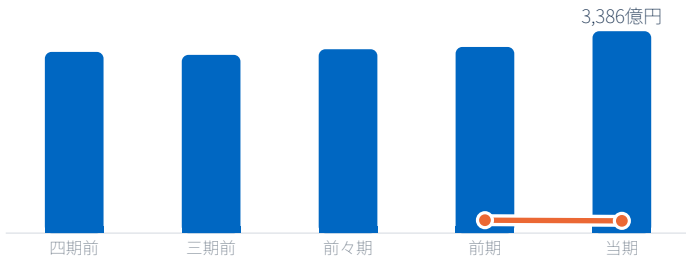
- ・資本コストを把握した上での収益性改善と事業ポートフォリオの変革
- ・財務レバレッジ適正化に向けた配当性向40%以上（2026年度）、50%（2030年度）の実現

面接で使えるポイント

- ・ベンダーリース事業のDNAを軸に、トランザクションデータ活用による企業成長支援とマテリアリティに基づく社会課題解決の掛け…
- ・2026年3月期の営業利益235億円達成に向け、既存ビジネス強化と新規事業創出による持続的成長を推進中
- ・2050年カーボンニュートラル実現に向けた環境分野への4,000億円の資金投下を含むサステナビリティ経営を実践

証券コード 8566

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
3,386億円

営業利益率
6.1%

財務健康度
36点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 54.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
808万円

その他金融業内 14位/38社

平均年齢
41.5歳

その他金融業内 17位/38社

平均勤続
13.5年

その他金融業内 14位/38社

女性管理職
25.9%

その他金融業内 10位/27社

男性育休
80.0%

その他金融業内 18位/22社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに

リコーリース株式会社 事業概要

…

主力事業・セグメント

- ・リース・Finance 93.4%
- ・投資 3.5%
- ・サービス 3.0%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高3,386億円の事業規模
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

